
鉱山研究会 (Japan Mine Research Society)

ニューズレター

No. 119

2022年6月8日

研究会運営の現状について

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して、2021年4月から合宿や会合形式の活動を中止しています。まだしばらく活動再開の見透しはたちません。

それが可能になり次第、案内をさしあげます。

ご意見・ご希望をお寄せください。

本誌の付録として、①仮訳 Otis E Young Jr., *Western Mining* (第1章 鉱物鉱床と探鉱の仕方：はじめに)、を添付で、メールアドレスのないひとには郵送で本誌とともに送ります。

また、②会計報告と③名簿は会員のみに送ります。

すでにメールアドレスをお持ちのかたには、『鉱山研究』97号に、会費請求の振替用紙を同封しました。なお、送金先は2つあります。

▼郵便振替口座: 鉱山研究会 00250-9-137795

▼ゆうちょ銀行口座: 鉱山研究会 普通 大口駅前支店 10970 30903001

2021年度経過

2021年度

6月10日(木) 『ニューズ・レター』No. 118 付・会員名簿、決算報告、監査報告

仮訳 Rodman Wilson Paul, *Mining Feontiers of the Far West, 1848-18*

(Paul 略歴、目次、2001年版前書、1963年版前書)、会費請求

6月11日～14日 アメリカ鉱山史協会年次大会 (Virtual) Elko, Nevada

9月19日(日) Du Maurier, Daphne, *Vanishing Cornwall, The Tinnerns*,
仮訳配布

10月4日(月) 『ニューズ・レター』臨時号 (『鉱山研究』97号原稿募集、日程、ほか)

11月8日(月) 10日(水) 仮訳 Rodman Wilson Paul, *Mining Frontiers of the Far West, 1848-1880* (第1章 フロンティアとしての金・銀地域) 配布

12月1日(水) 第52回映像の会案内(資料添付)、2022年度合宿提案
(黒川金山、増富金山)

12月24日(金) 『鉱山研究』97号原稿の締め切り

2022年

1月22日(土) 映像の会中止

5月31日(火) 『鉱山研究』97号発行

延期 例会 第195回～、

延期 映像の会 第52回～

延期 海外文献の会 Clark C.Spence, *British Investments and the American Mining Frontier 1860-1901*

延期 Irving社の探鉱事業現場見学(北海道雄武町)、鴻之舞鉱山資料館

延期 オーストラリアン(Australasian)鉱山史協会年次大会、Burra, South
Suستراليا

2022年度経過・予定

■行事回数 ①年次大会・例会3回(195、196、197)(合計4回) ②見学会・巡
検2回 ③映像の会3回 ④海外文献の会5回

■刊行回数 ①『鉱山研究』98号 2023年3月17日発行 1回

②『ニューズレター』No.120、121、123、124、号外随時

2022年

5月15日(日) Otis E Young Jr. (仮訳) *アメリカフロンティア時代の鉱山* (はし
がき、目次) 郵送会員には後日送付

5月31日(火) 『鉱山研究』97号発行

6月1日(水) 『鉱山研究』97号発送(22年度会費請求、郵送会員後日NLと同
時)

6月8日(水)

『ニューズ・レター』No.119に同封

6月9日(木) 『ニューズ・レター』No. 119(2021年経過と22年予定、22年度
運営方針ほか、添付2021年度会計報告ほか、

Otis E Young Jr. (仮訳) *アメリカフロンティア時代の鉱山* (第1章 鉱物鉱床
と探鉱の方法) 郵送会員に仮訳 ①Paul, ② Young 同封▲

6月23日～26日 アメリカ鉱山史協会年次大会 Birmingham, Alabama
9月18日～25日 オーストラリアン (Australasian) 鉱山史協会年次大会、
Burra, South Sustralia

2023年

3月17日(金) 『鉱山研究』98号発行

日程未定 2022年度総会

日程未定 例会第195回～、

日程未定 映像の会

日程未定 海外文献の会

日程未定 Irving社の探鉱事業現場見学(北海道雄武町)、鴻之舞鉱山資料館

日程未定(2024年?) 国際鉱山史会議、金瓜石、台湾

2022年度活動運営案

①会員数の減少。会費の3年以上の滞納者の会員資格停止により会員数が減少し、現在27件で昨年度より1件減少しました。

財政安定のためには35件の会員数が必要です。入会の勧誘をお願いします。

②研究97号の発行は前年度の残金でまかないました。98号はいまのところは財政上可能ですが、それ以降の発行については未確定です。

検討事項

(1) 会員数の増加に努める。学生・大学院生は割引会費を維持する。

今年度年初に、3年以上会費の滞納している会員は退会とする措置を実行しました。今後もこの方針を維持します。

①郵送費の削減のために、『ニューズレター』、臨時号や案内をメール配信にする。ただしメールを利用していない会員や印刷物を希望する場合は郵送を維持する。

また『鉱山研究』の贈呈は可能ならばメール配信にする。

②合宿・見学会・巡検などは、従来どおり経費を参加人数割にして、その時点で精算する。

③例会・映像の会など会場費を必要とする場合は寄付をつのる。

(2) 各行事ともに参加者が少なく、企画内容に工夫が必要。

(3) 例会や大会での報告者が少ないので、会員か否かを問わず、報告できるひとを積極的に探す。報告した人に入会を促す。

(4) 合宿、巡検や見学会は、会員の希望を受けて、それに従って見学地を選定する。

鉾山遺跡は存在そのものが所在不明になりつつあります。今後はほとんどの鉾山遺跡は現在の時点での見学できなくなります。積極的に見学を行いましょう。

(5) 各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。

(6) 『鉾山研究』には、大会や例会での報告をできるだけ掲載する。また非会員の原稿も掲載し、その後入会を促す。

(7) 『鉾山研究』の100号は記念号にする企画をたてる。

★ご提案やご意見を村田淳までお寄せください

第52回鉾山の映像を観る会の予定案

今回はコロナ禍が収まり次第開催します。

候補作品として、

①『新大牟田市』付録DVD、昨年度開催を延期したものです。

この中に三井三池炭鉾の昭和初期（大戦前）の映像があり、坑内を撮影した記録映像（1940年頃）が2本あります。ただしともに松竹文化映画の制作で、坑夫を俳優が演じているふしがありますが、坑内の様子はよくわかります。

そのほかに会社主催の行事（團理事長葬儀、防護団閲団式、招魂祭）や大牟田市制80周年記念があります。ほとんどが戦時期の会社の宣伝や紹介のために企画されたものと思われます。

②『アギー〜神の怒り』、ヨーロッパ諸国は黄金郷、エルドラドを自国の領土にしようと、スペインも探検を名目にして中米から南米をめざした。そのなかで1560年末探検隊はアマゾン奥地に進軍した。その末路を物語っている。

③『メートワン』、USA、ウエストバージニア州メートワンにあった炭鉱での労働争議を中心にした作品です。この時期のアメリカでの労働組合や、争議にたいする暴力的な抑圧が丁寧に描かれています。

④『恐怖の報酬』、鉾山とはいえ油田に関係する、同名のフランス映画のリメイクです。石油施設の火災事故を收拾するためのニトログリセリンを運搬する男たちの物語で、『フレンチコネクション』を監督したときのように、エキサイティングな場面に圧倒されます。

④『箱根用水』、箱根の湖尻峠にトンネル（延長 1280m）を掘り、芦ノ湖の水を駿河の駿東郡深良村など数か村の灌漑用水路（延長 7 km）で現在も使われている。途中に 3 つの発電所がある。1663（寛文 3）年頃着手、1670（寛文 10）年完成。

この事業の総括者や技師は甲州の鉾山や治水の経験を持ちその技術を用いた。とくに、鉾山の水抜坑の技術水準を垣間見られる。

*ご意見ご要望のある方は、村田淳までご連絡ください。

映像の会の運営担当者の募集

現在、映像の会の担当者が不在です。どなたか運営の担当をお願いします。

以下が担当事項です。

①活動内容は鉾山に関する映像を視聴するための準備と実施。

映画作品と鉾山映像を交互に上映。TV 作品でもかまわない。

②上映作品の探索や借り受け。

③開催は年 2 回、土曜日午後。

④会場の確保、都区内であれば場所はとわない。理想的には渋谷か中央区内。

⑤上映に必要な機材の借用と会場までの持参。

⑥案内の作成・メール配信・『ニューズレター』掲載。案内は約 60 日前に発信。

□連絡・問合せ：村田 淳 221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone・Fax：(045) 401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

ご注意：会費を 3 年以上滞納している場合は、退会の扱いにさせていただきます。
健全な財政上の運営の必要のために会費の納入をお願いします。